

【11月・0歳児・高月齢】

ほいくのおまもりプラス

	Aさん(高月齢/男児/活発) (0歳7カ月/4月生まれ)	Bさん(高月齢/女児/活発) (1歳6カ月/5月生まれ)	Cさん(高月齢/男児/静か) (1歳5カ月/6月生まれ)	Dさん(高月齢/女児/静か) (1歳4カ月/7月生まれ)
子どもの姿	1. 自分でズボンを履こうとしたり、靴や靴下を脱ごうとしていた。 2. 散歩の際は散歩カートに立って乗ったり保育者と手をつないで歩き、公園では自由に散策を楽しんでいた。 3. 名前を呼ばれると喜び、手をあげたり「あい」と返事ができた。	1. 手洗いの際に腕まくりすることを伝えられると、「ぎゅっ」と言って自分なりに袖を上げようとしていた。 2. 園庭や公園では自由に歩くことを楽しみ、気になるものを見つけると指差ししながら「あつ」と声を出して伝えようとしていた。 3. 午睡の際は自分で布団に向かいすぐに入眠し、おやつ時間までなかなか起きない。		
ねらい	1. 保育者と一緒に簡単な着脱をしてみようとする 2. 戸外での散策を楽しむ中で、秋の自然に触れる	1. 手洗いをして清潔になった心地よさを感じる 2. 自分なりの言葉やしぐさで思いを伝えようとする		
内容	1. 保育者に見守られたり手伝ってもらいながら、ズボンや靴下の着脱をする。 2. 園庭や公園で、保育者と一緒に虫や落ち葉、ドングリなどの自然物を見つけて楽しむ。	1. 戸外遊びの後や食事の前に、保育者と一緒に丁寧に手洗いをする。 2. 自分なりに表現した思いを保育者に受け止めてもらい、伝わる喜びを感じる。		
環境構成 配慮 援助	1. 自分でしようとする姿を大切にしながら、ズボンを履きやすいように置いたり、靴下を脱ぎやすいように足の甲まで下げ、本児自身で脱ぐことができるようにする。必要に応じて援助しながら「履けたね」「できたね」と言葉にして、自分でできた達成感を味わえるようにする。 2. 散策を楽しむ中で身の回りの自然物に興味を持てるように、「葉っぱが落ちているね、カサカサ音がするよ」「トンボが飛んでいるね」と言葉かけをしていく。落ち葉やドングリなどに触る機会を作り、誤って口に入れないように注意しながら、本児が感じる驚きや不思議さに共感する。	1. 手を洗う前には服が濡れないように腕まくりすることを伝え、自分で行うのが難しそうときは援助する。「一緒にきれいにしようね」と本児の後ろに回り、手を添えながら石けんを使って丁寧に洗い、きれいになった心地良さに共感する。 2. 本児が発する言葉やしぐさを見逃さず、 「おなんだね」「○○があるね」と丁寧に言葉にして返しなが ら受け止め、伝わる喜びを味わえるようにする。言葉にできずに泣いたり怒ったりする姿も認め、「悲しかったね」「○○したかったね」と本児の思いを代弁しながら寄り添う。		
食事	(幼児食) ・手づかみやスプーンでよく食べているので、自分で食べようとする姿を尊重し見守っていく。 ・スプーンから食材がこぼれてしまうこともあるので、さりげなく手を添えて援助する。	(幼児食) ・スプーンを片手に持ちながら手づかみでよく食べるので、「おいしいね」「たくさん食べられるね」と伝えながら、楽しい食事の雰囲気を作っていく。 ・自分で食べようとする意欲を尊重し、「次はどれを食べようか」と声をかけながら見守り、援助が必要な時はさりげなく行う。		
家庭との連携	3. 名前を呼ばれると返事をしたり、本児なりの言葉やしぐさで保育者とやり取りを楽しんでいる姿を伝え、日々の成長を感じられるようにする。 ・戸外遊びで着るための、フードが付いていない上着を用意してもらう。	3. 家庭での就寝時間への影響や体調の変化がないかなどをこまめに確認し合い、長く寝すぎてしまいそうときは優しく起こして、生活リズムの乱れを防ぐ。 ・園で気に入っている絵本や好きなわらべうたを紹介し、家庭でも楽しめるようにする。		
評価・反省	1. 引っかかりたり難しい部分はさりげなく援助し、「できたね」と伝えながら自分でできた感覚を味わえるようにした。自信や意欲につながるように、できた喜びに共感しながら見守る。 2. 公園では落ち葉の上を歩いて音や感触を楽しんだり、「どんぐりころころ」を歌いながらドングリを拾って楽しむことができた。来月も気温や体調に応じて、戸外遊びを十分に楽しみたい。	1. 手洗いの前に自分で腕まくりをしようとする姿が増えたが、そのまま洗い出して袖が濡れることもあった。必要に応じて「濡れちゃったから着替えようか」と誘って安心できるようにしながら、少しずつ習慣が身に付いていくように援助する。 2. 本児なりの表現を丁寧に受け止めて応答していった。絵本や歌を通して言葉が増えてきたので、楽しさを共有しながらさらに発達を促せるように関わっていく。		

無料版:2名分
↓
有料版の
"おまもりプラス"
は**12名分**が
閲覧&DL可能!

子どもの姿の1, 2は『ねらい/内容/環境構成/配慮/援助/評価・反省』、3は『家庭との連携』と連動しています。

敬称と性別表記:ウェブサイトにも当社方針を記載しております。

ほいくのおまもり **Plus!**

ダウンロードのお礼とおまもりプラスについて

この度は個人案をダウンロードいただき、ありがとうございます！

ほいくのおまもりプラスでは、**性別／タイプ別／月齢別の12名分の個人案（0,1,2歳児）**をご用意しています。更に・・・

- **無料版の2倍の月案文例**
- 丸1ヶ月分の月～金の全ての週案
- 毎月45個の製作型紙
- 毎月2つのスケッチブックシアター
- その他、会員だけのコンテンツ

これだけ揃って、**月額980円+税**の大特価！気になる人は、以下からおまもりプラスのサービスを確かめてみてくださいね。



文例ご利用時の注意事項

- 提供される文例は、一般的なケースを想定して作成されています。ご自身の具体的な状況やニーズに合わせて適宜修正を加えてご利用ください。
- 文例の利用によって生じたいかなる結果についても、当サービスは責任を負いかねます。自己責任においてご使用ください。
- 文例は参考としてのみご利用いただき、直接のコピー&ペーストではなく、ご自身の言葉で表現を加えることをお勧めします。
- 法的な文書や重要な契約に関する文面は、専門家のアドバイスを受けて作成することをお勧めします。
- 文例の著作権は当サービスに帰属しています。無断での再配布や商用利用はご遠慮ください。